

平成 28 年度 委員会活動報告
平成 28 年 8 月 1 日～平成 29 年 7 月 31 日

学術委員会

■構成メンバー (◎委員長、○副委員長、五十音順)

◎岡田 彩子 (兵庫県立大学)
○三浦 英恵 (日本赤十字看護大学)
阿部 隼人 (榊原記念病院)
大津 美香 (弘前大学)
瀬戸 初江 (東北医科薬科大学病院)
竹原 歩 (兵庫県立大学)
仲村 直子 (神戸市立医療センター中央市民病院)
旗持 知恵子 (大阪府立大学)
深水 愛子 (大阪警察病院)
三浦 稚郁子 (榊原記念病院)
南川 貴子 (徳島大学大学院)
若林 留美 (東京女子医科大学病院)

■活動の概要

平成 28 年度は計 3 回の教育セミナーを開催するとともに教育セミナーの運営体制の整備と強化を図るため、以下の内容を実施した。

- ・開催規模の拡大の検討
- ・セミナー運営業務の委託
- ・委員および教育セミナーワーキングメンバーの増員

【第 28 回教育セミナー】

テーマ：「すぐに活かせる！循環器ケアの know-how」
日時：平成 29 年 1 月 22 日 (日) 10:00～16:20
場所：大阪府立大学 I-site なんば 2 階
参加人数：会員 31 名、非会員 108 名 計 139 名

【第 29 回教育セミナー (中級編)】

テーマ：「高齢心不全患者の care と cure あなたならどうする？」
日時：平成 28 年 3 月 5 日 (日) 10:00～16:20
場所：東京医大病院 臨床講堂
参加人数：会員 21 名 非会員 159 名 計 180 名

【第 30 回教育セミナー (初級編)】

テーマ：「事例から学ぶ循環器看護の基礎」
日時：平成 29 年 7 月 1 日 (土) 9:50～15:20
場所：仙台市情報・産業プラザ ネットU セミナールーム (仙台)
参加人数：会員名 6 名、非会員 56 名 計 62 名

循環器看護領域の学術的発展及び基盤の構築に向けた活動の第一歩として、第 14 回日本循環器看護学会学術集会において、交流集会「循環器看護を考える；循環器看

護って何？循環器看護の専門性とは？」を企画した。
以上
(報告者：岡田 彩子)

学会誌編集委員会

■構成メンバー (◎委員長、○副委員長、五十音順)

◎旗持 知恵子 (大阪府立大学)
○瀬戸 奈津子 (関西医科大学)
稲垣 美紀 (摂南大学)
落合 亮太 (横浜市立大学)
北村 愛子 (大阪府立大学)
高谷 真由美 (順天堂大学)
白水 真理子 (神奈川県立保健福祉大学)
宮松 直美 (滋賀医科大学)
宮脇 郁子 (神戸大学)

■活動の概要

平成 28 年度は、日本循環器看護学会誌、12 巻 1 号、2 号の校正、発刊を行うとともに、専任査読委員の基準の確認作業の上、専任査読委員候補者の決定と依頼、承諾を得て、専任査読委員を決定した。また委員会委員の交替に伴い、役割分担を行い、担当者が中心となり、投稿・査読オンラインシステムの準備、投稿勧奨のための支援、循環器看護の充実に向けた編集委員会企画記事作成の準備について担当者を中心に活動した。

また投稿規程の確認を行い、一部、修正を行った。

【第 1 回委員会】

日時：平成 28 年 8 月 28 日 (日)
場所：品川 TKP センター 5F 会議室

1. 学会誌 12 巻 1 号の校正

出席者全員で分担しながら第 12 巻 1 号の校正を行った。修正点については各著者に提案し、検討を依頼することとなった。

2. 学会誌第 12 巻 2 号、13 巻 1 号に掲載する学術集会での発表内容について

10 月に行われる学術集会のプログラムの中で、どの企画に対し、学会誌への原稿を依頼するか検討した。演者への執筆依頼は編集委員会で行うことを確認した。

3. 専任査読委員の基準の確認と候補者の決定

「専任査読委員に関する細則」に新たな査読者の条件として、「過去 10 年間で筆頭、共著者を問わず、査読のある学術雑誌に論文が掲載されたことがあること」が加えられたため、候補者の業績の確認作業を行い、専任査

読委員候補者を決定することとなった。

政策・診療報酬委員会

【第2回委員会】

日時：平成29年2月26日（日）13:00～16:30

場所：大阪府立大学 I site なんば

1. 投稿規程の確認

投稿規程に関しては倫理的配慮に「人を対象とする医学系研究に倫理指針（2016）」を加えることを確認し、次回理事会に提案することとなった。

2. 専任査読委員の決定

専任査読委員候補者への依頼の結果、承諾が得られた46名を専任査読委員とした（第2回委員会以降、1名の承諾の連絡があり、専任査読委員は計47名となった。）

3. 投稿から論文掲載に至るプロセスに関する委員会ガイドラインの修正

委員会事務局、編集委員会での査読結果等の書類の授受や査読結果記入フォーマットの送付は、利便性、迅速性を考慮し、USB等ではなく基本的にメールとすることとなった。

4. 12巻2号の校正、確認

出席者全員で分担し、12巻2号の内容の校正作業を行った。一部略語や表現等について著者に修正を依頼することとなった。

5. 投稿論文の採否についての審議

採否について編集委員会での確認が必要な投稿論文について査読委員の意見をもとに、出席者全員で確認した。再度編集委員会から丁寧に修正箇所のコメントを加え、再投稿を求めることとなった。

【第3回委員会】

日時：平成29年6月12日（月）メール会議

平成29年6月17日（金）決議

1. 投稿システム、査読システムについて

2つの業者から概算の見積もりを取り、検討した。投稿、査読システム導入に向けて、さらに具体的な仕様書を作り、業者を検討していくこととなった。

2. 学会誌への投稿奨励に関する取組み等

14回学術集会の折に、投稿奨励に関するセミナーを開催すること、座長推薦などによる学会発表者への投稿促進の働きかけを行うこととなった。その結果を考慮し、他委員会との共同企画等も今後検討することを確認した。

3. 投稿規程の修正

倫理的配慮に「人を対象とする医学系研究に倫理指針（2016）」に加え、論文送付方法について「配達記録郵便（レターパック含）または書留」と修正することに関して理事会で承認されたことを確認した。

以上

（報告者：簗持 知恵子）

■構成メンバー（◎委員長、○副委員長、五十音順）

◎宇都宮 明美（聖路加国際大学）

○三浦 英恵（日本赤十字看護大学）

高田 幸千子（国立病院機構 神戸医療センター）

仲村 直子（神戸市立医療センター 中央市民病院）

藤井 利江（兵庫医科大学病院）

明神 哲也（東京医科大学病院）

山田 佐登美（川崎医科大学総合医療センター）

■活動の概要

平成28年度は委員会を2回、メール会議を適宜開催し、以下の議案について検討を行った。

1. 循環器分野の政策的検討課題の検討

心不全の再入院予防と緩和ケアについて検討していくことを委員会で合意。まずは前年度調査結果から、心不全の再入院予防介入を認定・専門看護師を中心に作成・介入するプランを検討することとなった。

2. 循環器看護分野における診療報酬獲得に向けての検討、関連学会との連携・渉外

1. で検討した心不全再入院予防の研究計画を看保連に申請し採択された。今後調査予定。

3. 医療保険に関する外部機関への会議等の出席・渉外

山田委員が厚労省への会議出席、仲村委員が国内交流委員でもあるため、各関連学会との調整を検討している。

以上

（報告者：宇都宮 明美）

広報委員会

■構成メンバー（◎委員長、○副委員長、五十音順）

◎落合 亮太（横浜市立大学）

小泉 雅子（東京女子医科大学）

笹川 みちる（国立循環器病研究センター）

高山 直子（東京大学医学部附属病院）

徳永 友里（横浜市立大学）

山中 源治（東京女子医科大学病院）

■活動の概要

1. 平成28年度ニューズレター第10号を発刊（WEBのみ）

E-news letterの発行（紙面の廃止）

通算10号を作成し、学会ホームページに公開した。

2. ホームページのリニューアル

学会ホームページ上で学会入会申込・会員登録情報変更を可能とした。学術集会・教育セミナー関連、役員・代議員・委員会名簿、関連学会へのリンク、過去の優秀論文、慢性心不全看護認定看護師の活動関連のコンテン

ツを更新した。

以上

(報告者：落合 亮太)

倫理委員会

■構成メンバー (◎委員長、○副委員長、五十音順)

- ◎瀬戸 奈津子 (関西医科大学)
- 小泉 雅子 (東京女子医科大学)
- 大原 千園 (大阪大学)
- 谷口 千夏 (武庫川女子大学)
- 道又 元裕 (杏林大学医学部付属病院)
- 鷺田 幸一 (兵庫県立尼崎総合医療センター)

■活動の概要

平成 28 年度の研究倫理申請は 0 件であった。その他、個人情報保護や倫理綱領に関する問題もなかった。

下記の 3 題について委員間でメール会議を行った。

1. 日本循環器看護学会倫理委員会関連書類一式に目を通し加筆修正を行った。
2. 理事会意見を踏まえた倫理委員会事業計画案、予算案の修正を行った。
3. 学会の研究に関する「利益相反指針」及び細則(案)を作成した。

以上

(報告者：瀬戸 奈津子)

国内交流委員会

■構成メンバー (◎委員長、五十音順)

- ◎仲村 直子 (神戸市立医療センター 中央市民病院)
- 池亀 俊美 (聖路加国際病院)
- 遠藤 美代子 (東京大学医学部附属病院)
- 岡田 彩子 (兵庫県立大学)
- 高見沢 恵美子 (関西国際大学)
- 田村 綾子 (徳島大学)

■活動の概要

1. 本法人の国内の循環器看護関連法人・学会・研究会などを中心とした諸団体との交流をはかる。
2. 上記 1 にともなう、本学会の窓口となる。
- 下記学会・団体からジョイントセッションや後援の依頼を受け、座長推薦・承認、後援の承認を行った。

【開催済み】

- ① 第 42 回日本脳卒中学会学術集会 (2017 年 3 月 16 日-19 日、大阪国際会議場)における合同シンポジウム『超高齢社会の患者・家族を支えるチーム医療と看護師の役割』(座長：田村綾子氏)

【開催予定】

- ① 第 74 回日本循環器心身医学会学術総会 (2017 年 11 月 3 日)におけるジョイントシンポジウム (座長；竹原 歩氏を推薦、企画の依頼)
- ② 第 82 回日本循環器学会学術集会 (2018 年 3 月 23-25 日)におけるジョイントシンポジウム『チームで取り組む循環器医療における Advance Care Planning』(座長；推薦のあった山部さおり氏を承認)
- ③ 日本集中治療医学会より「敗血症セミナー in 東京／世界敗血症デー2017」の後援の名称使用の承認。2017 年 9 月 2 日 (東京医科歯科大学)開催予定の敗血症セミナーへの学会員 2 名の無料参加は HP で案内した。
- 下記の関連学会との合同会議に本学会の代表として委員が参加した。
- ① 第 24 回日本臓器移植関連学会協議会 (2017 年 4 月 15 日) 遠藤委員が参加。

以上

(報告者：仲村 直子)

選挙管理委員会

■構成メンバー (◎委員長、○副委員長、五十音順)

- ◎伊藤 文代 (国立病院機構大阪医療センター)
- 角口 亜希子 (榊原記念病院)
- 多留 ちえみ (神戸大学)
- 長家 智子 (佐賀大学)
- 菱田 千珠 (国立病院機構大阪医療センター)
- 本杉 ふじえ (国立循環器病研究センター)

■活動の概要

1. 一般社団法人日本循環器看護学会に移行後初めての代議員選挙と理事及び監事選挙を終え、選挙準備から実施、結果報告におけるプロセスを検証した。
2. 選挙終了後の選挙投票用紙及び集計表の処理について、理事会に審議事項として提出した。
結果、投票用紙と集計表は、社員総会で承認された後に、シュレッターで廃棄することに決定した。
3. 上記 2 で決定したことを実施した。

以上

(報告者：伊藤 文代)

総務委員会

■構成メンバー (◎委員長、○副委員長、五十音順)

- ◎池亀 俊美 (聖路加国際病院)
- 加賀谷 聡子 (杏林大学)
- 齊藤 奈緒 (神戸大学)
- 西田 和美 (国立病院機構京都医療センター)

■活動の概要

平成28年8月1日付で事務局機能を学会支援機構に移行した。また各委員会活動が円滑に運営されるよう連絡調整を行うとともに、HPや発送物を通じて会員への情報発信、会員獲得に関する事業を実施した。

以上

(報告者：池亀 俊美)